

三菱UFJフィナンシャル・グループ
MUFG通信

第8期第3四半期(平成24年4月1日～平成24年12月31日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

証券コード：8306

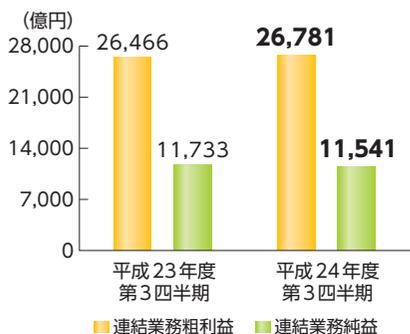
平成24年度第3四半期の業績

✓ 決算のポイント

- 連結四半期純利益(平成24年4月～12月)は5,324億円。通期業績目標6,700億円に対する進捗率は約80%と、順調に推移
- 貸出金は、海外貸出・国内法人貸出が増加したことから平成24年9月末比2.2兆円増加。預金は、個人預金・海外の預金が増加したことから1.8兆円増加
- 連結自己資本比率は、平成24年9月末比0.25ポイント低下の14.04%

損益の状況

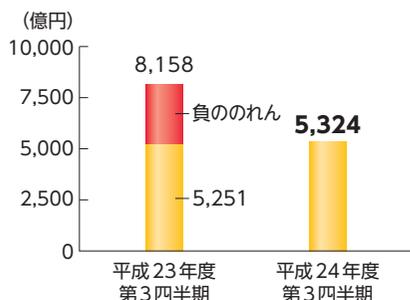
連結業務粗利益・連結業務純益



連結業務粗利益は、前年同期比314億円増加しました。市場金利低下に伴う国内預貸金収益や市場運用利息の減少に加えて、消費者金融子会社の資金利益も減少しましたが、海外貸出や、ストラクチャードファイナンスなどの投資銀行業務、運用商品販売、債券売買などの収益が伸びました。

一方、営業費は、海外業務などの収益増強分野へ積極的な資源配分を行った結果、506億円の増加となりました。この結果、**連結業務純益**は191億円減少の11,541億円となりました。

連結四半期純利益



与信関係費用総額は、一般貸倒引当金戻入益の減少により128億円増加し、1,035億円の費用となりましたが、引き続き落ち着いた推移となっています。

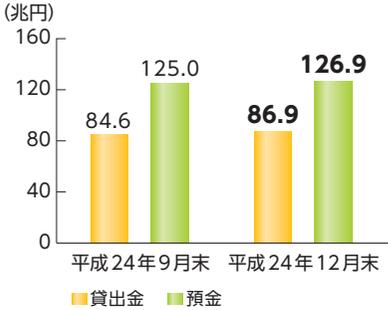
株式等関係損益は909億円の損失となりましたが、株式相場の上昇に伴い、中間期に比べて損失幅は縮小しました。

以上の結果、**連結四半期純利益**は、5,324億円となり、通期業績目標6,700億円に対し、順調な進捗となりました。

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

貸出金・預金の状況

貸出金・預金

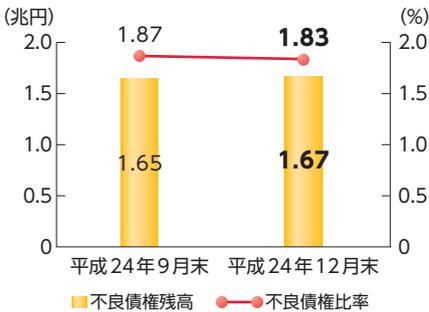


貸出金残高は、平成24年9月末比で海外貸出が1.7兆円（為替影響を除くと0.3兆円）増加したほか、国内法人貸出も0.5兆円増加したことから、全体では2.2兆円増加の86.9兆円となりました。

預金は、国内法人預金は減少したものの、個人や海外の預金が増加したことから、1.8兆円増加の126.9兆円となりました。

不良債権残高・比率の状況

不良債権残高・比率



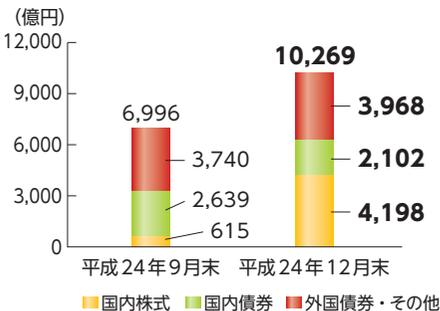
不良債権残高*は、平成24年9月末比でほぼ横ばいの1.67兆円となりました。

不良債権比率*は、0.03ポイント低下の1.83%となりました。

*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

有価証券の含み損益の状況

有価証券の含み損益

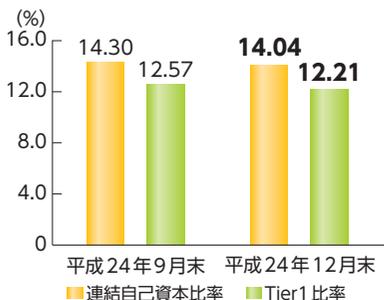


有価証券の含み損益（その他有価証券評価差額）は、平成24年9月末比3,273億円増加し、10,269億円の含み益となりました。株式相場の上昇に伴い、国内株式の評価益が増加したことが主因です。

平成24年度第3四半期の業績

連結自己資本比率・Tier1比率の状況

連結自己資本比率・Tier1比率



連結自己資本比率*は、平成24年9月末比0.25ポイント低下し、14.04%となりました。**Tier1比率****は、0.35ポイント低下し、12.21%となりました。円安の影響による信用リスクの増加等により、リスク・アセットが増加したことが、比率低下の要因です。

* 自己資本比率=自己資本÷リスク・アセット

** Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金など)÷リスク・アセット



MUFGワンポイント解説……金融商品仲介

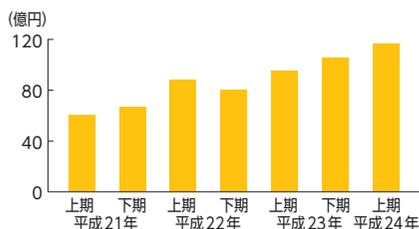
1ページの「損益の状況」にもあるとおり、今回の決算では運用商品販売が粗利益の増加に貢献しましたが、投資信託の販売に加えて金融商品仲介も好調でした。

金融商品仲介とは、銀行や信託銀行が、証券会社で取り扱っている外国債券や投資信託のご注文を窓口でお預かりし、証券会社に取り次ぐサービスです。MUFGは「高いグループ総合力」を強みの一つと考えていますが、金融商品仲介はこの強みを活かしたものです。平成16年12月のサービス開始以降、品揃えの充実や体制の整備などを進めてきました。

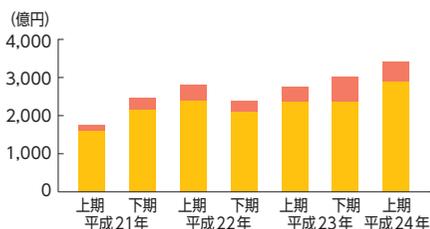
例えば、三菱東京UFJ銀行には、三菱UFJモルガン・スタンレー証券出身の営業スタッフが650人程度在籍しており、高度で幅広い資産運用ニーズをお持ちのお客さまにお応えしています。この結果、金融商品仲介の収益・販売額は順調に拡大しており、この3年で約2倍になりました。今後、さらに拡大していく計画です。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券における金融商品仲介

(純営業収益)



(販売額)



(単位：億円)

損益の状況(連結)	平成23年度第3四半期	平成24年度第3四半期
	(平成23年4月～12月)	(平成24年4月～12月)
連結業務粗利益(信託勘定償却前)	26,466	26,781
資金利益	13,780	13,098
信託報酬+役員取引等利益	7,699	7,842
特定取引利益+その他業務利益	4,987	5,840
営業費	14,733	15,239
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	11,733	11,541
臨時損益(△は費用)	154	△ 2,207
与信関係費用総額*(△は費用)	△ 907	△ 1,035
株式等関係損益	△ 1,550	△ 909
持分法による投資損益	3,644	202
経常利益	12,314	9,364
特別損益(△は損失)	△ 178	△ 271
法人税等合計	3,194	2,829
少数株主利益	783	938
連結四半期純利益	8,158	5,324
除く負ののれん	5,251	5,324

* 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

(単位：億円)

資産・負債の状況(連結)	平成24年9月末	平成24年12月末
資産の部	2,186,411	2,244,702
貸出金	846,811	869,795
有価証券	772,768	754,034
負債の部	2,067,742	2,121,999
預金	1,250,858	1,269,312
純資産の部	118,669	122,702

(単位：億円)

連結自己資本比率の状況(第一基準)	平成24年9月末	平成24年12月末
自己資本比率	14.30%	14.04%
Tier1 比率	12.57%	12.21%
自己資本	123,184	126,924
Tier1	108,322	110,406
リスク・アセット	861,179	903,553

クローズアップMUFG

MUFGグループは、さまざまな金融分野に有力なグループ会社を有する総合金融グループです。「クローズアップMUFG」では、こうしたグループ会社をシリーズでご紹介します。第二回は、カブドットコム証券です。

■カブドットコム証券

Q. 会社概要・特長について教えてください。

A. カブドットコム証券は平成11年11月に設立され、平成17年3月に東証第一部に上場しました。5大ネット証券会社の1社として、株式売買の取次ぎを中心とした金融商品取引サービスを、主に個人のお客さまに対して提供しています。主な取り扱い商品は以下のとおりです。

株 式 関 連	現物株式、信用取引、プチ株(単元未満株)、新規公開株式、公募・売出株式
債券・投資信託関連	外国債券、投資信託、外貨MMF
取引所デリバティブ	FX、株価指数先物、オプション、上場株価指数証拠金取引(CFD)
店頭デリバティブ	店頭FX

当社は他の大手ネット証券とは異なり、システムの自社開発にこだわっています。個人向け取引システムは国内最速クラスで、さまざまなお取引ツールもご用意しています。今後もお客さまにとって使い勝手の良いサービスを提供するよう、努めてまいります。

Q. 具体的に、どのような取引ツール・サービスがあるか教えてください。

A. 当社は、「お客さまの投資成績重視」を経営理念とし、お客さまの資産運用に役立つ各種ツール・サービスを提供しています。取引ツールとしては、豊富な発注機能を備えた自社開発の高機能トレーディングツール「kabuステーション™」、お気に入り銘柄(最大180銘柄)のリアルタイム株価を一覧できる「カブボードフラッシュ」などがあります。



また、当社のお客さま向けに無料配信するオリジナル投資情報サービス「kabu.com 投資情報室」では、当社専属アナリストが、日々のマーケット動向から投資手法や金融最新情報まで、分かりやすく解説しています。

Q. カブドットコム証券で取引するにはどのような方法がありますか。

A. パソコンやコールセンター経由はもちろん、携帯電話、スマートフォン、タブレットを経由してのお取引が可能です。当社ホームページ (URLは下記) にアクセスいただき、証券口座を開設、ご入金いただいた後、お取引ができるようになります。「らくらく電子口座開設」をお選びいただければ、即日口座開設、最短翌日から取引も可能です。

Q. 最近の取り組みについて教えてください。

A. 三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱東京UFJ銀行など、MUFGグループ会社との連携を深めることで、取り扱い商品やサービスの拡充を進めるとともに、グループの預かり資産の拡大につなげています。

例えば、三菱UFJモルガン・スタンレー証券からは、新規に発行される株式や外国債券の供給を受けており、三菱東京UFJ銀行とも、店頭FX「シストレFX」やインターネット金融商品仲介ビジネスで連携しています。グループ会社でネット専門銀行のじぶん銀行とも、平成24年12月より金融商品仲介を開始しました。



■ 企業プロフィール

会社名：カブドットコム証券株式会社
本社所在地：東京都千代田区大手町1-3-2
経団連会館6F
設立日：平成11年11月19日
資本金：71.96億円
従業員数：96名(平成24年12月31日現在)
URL：<http://kabu.com>



QRコードの読み取り機能を搭載した端末でご利用いただけます。

優待サービスのご案内

国内現物株式等売買委託手数料割引



詳しくは優待パンフレットをご覧ください。

1

三菱UFJ信託銀行、「ずっと安心信託」が 日経優秀製品・サービス賞を受賞

三菱UFJ信託銀行の特約付き金銭信託「ずっと安心信託」が、「日経優秀製品・サービス賞 日経ヴェリタス賞 2012最優秀賞」を受賞しました。



同商品は、お客さまのご資金を生前から相続後まで長期にわたり管理し、計画的にお受け取りいただける元本保証・管理手数料無料の信託商品です。3つの「安心」(①ご自身が計画的に受け取れる ②万一の際に、ご家族が簡単な手続きで一時金を受け取れる ③相続後、ご家族が計画的に受け取れる)を自由に組み合わせてご利用いただけます。平成24年3月の発売以来、契約数も順調に伸び、平成25年1月末時点で約8,000件となりました。

2

三菱東京UFJ銀行、 インターネットバンキングの画面をリニューアル

平成25年3月、三菱東京UFJ銀行は、インターネットバンキング(三菱東京UFJダイレクト)の主要画面をリニューアルしました。「残高一覧」「入出金明細」「振込・振替」などの画面内のメニューのボタンや文字が大きくなり、これまでより格段に使いやすくなっています。



三菱東京UFJダイレクトでは、重要情報の暗号化はもちろんのこと、普段とは異なる環境からのアクセスと判断した場合、ご登録のEメールアドレスに一度きりの使い捨てパスワードを発行するなど、セキュリティの強化にも力を入れています。

3

じぶん銀行、 外貨預金の取扱通貨を拡大



じぶん銀行は、平成25年2月より、外貨預金の取扱通貨に、韓国ウォン、ブラジルリアル、南アフリカランド、ニュージーランドドルを追加しました。この結果、外貨預金取扱通貨はこれまでの米ドル、ユーロ、オーストラリアドル、中国人民元とあわせて8通貨となり、特に新興国通貨は4通貨と業界最多水準のラインアップになりました。韓国ウォンは、日本の銀行としては初めての取り扱いになります。

4

三菱東京UFJ銀行、 ベトナム ヴィエティンバンクとの資本・業務提携を発表

平成24年12月、三菱東京UFJ銀行は、ベトナム国営銀行・ヴィエティンバンクと同行の株式引受契約および業務提携契約を締結しました。関係当局の認可などを前提として、株式の約20%を取得するとともに、取締役2名を派遣することで、平成25年中に同行を持分法適用関連会社とする予定です。



ベトナムは、高い経済成長を長期にわたって維持し、今後も金融サービスの需要拡大が期待される有望な市場です。また、多くの日系企業が進出するなど、日本との関わりが深い国でもあります。

ヴィエティンバンクは、ベトナムにおいて最大級の資産規模と幅広い顧客基盤・店舗網を有しています。三菱東京UFJ銀行は、本提携により、同国における日系・非日系のお客さまに対し、一層充実した総合的な金融サービスを幅広く提供していきます。

5

三菱東京UFJ銀行、インドにニムラナ出張所を開設

平成24年11月、三菱東京UFJ銀行は、インドのラジャスタン州にニューデリー支店ニムラナ出張所を開設しました。ニムラナはインドの首都ニューデリーの南西約120kmに位置しています。現在、デリーとムンバイの間に貨物専用鉄道を敷設し、周辺に工場団地や物流基地などを整備するプロジェクトが進行していることからインフラ開発が盛んで、自動車関連を中心に、多くの日系企業の進出も見られる地域です。三菱東京UFJ銀行のインド拠点網は、ムンバイ、ニューデリー、チェナイに今回のニムラナを加えて4拠点となり、さらに充実しました。また、平成24年11月には、インド中銀よりバンガロール支店開設の認可も取得しています。



三菱東京UFJ銀行は、今回のネットワーク拡充を最大限に活用し、お客さまのご要望にお応えする一層利便性の高いサービスを提供していきます。

社会とともに

MUFGグループは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。

今回は、金融機関としての本業を通じた環境への取り組みや香港での地域貢献活動などをご紹介します。

本業を通じた環境への取り組み

● 環境に配慮した住宅ローン

昨今の環境問題への意識の高まりを受け、環境にやさしい住宅普及に貢献しています。例えば、三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行では、太陽光発電システムの導入など一定の条件を満たす「環境に配慮した住宅」のご購入に対し、一定の金利を優遇する住宅ローンを提供しています。



● 再生可能エネルギーへのプロジェクトファイナンス

再生可能エネルギーの導入・普及が世界各国で進んでいます。三菱東京UFJ銀行では、未来の産業や生活を支える風力発電所の建設など再生可能エネルギーの開発を、プロジェクトファイナンスでの資金供給などを通じて積極的に支援しています。この結果、平成23年の再生可能エネルギーに関連したプロジェクトファイナンスの世界ランキングで、三菱東京UFJ銀行(ユニオンバンクを含む)は第1位*になりました。



*Project Finance International 誌の調べ

MUFGグループの地域貢献活動

第2回 香港

MUFGグループは、香港の慈善団体（香港公益金）が平成25年1月に開催したチャリティーウォーク（“Walk for Millions”）に参加しました。このイベントは、香港スタジアムから約10キロのコースをウォーキングするもので、参加費や寄付金は社会福祉や児童福祉のための活動にあてられます。香港特別区行政長官をはじめ1万人以上が参加する、香港をあげての一大イベントで、40年以上の歴史があります。

MUFGグループは、発足当時からこのイベントに参加しており、今回は日系企業で最大規模の238名が参加しました。



「日本プロサッカー選手会 チャリティーサッカー 2012」への招待

三菱東京UFJ銀行では、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同で「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」を創設し、中長期的な復興支援に取り組んでいます。

平成24年12月には、その一環として、ユアテックスタジアム仙台で開催された「日本プロサッカー選手会 チャリティーサッカー2012」に、同基金の奨学生17名を招待しました。

参加した奨学生は、試合の観戦に加えて、出場するプロサッカー選手と手をつないで一緒に競技場に入場したり、海外で活躍する有名選手と交流したりするなど、このイベントを楽しんでいました。



米国ハリケーン「サンディ」の被害に対して義援金を寄贈

MUFGは、米国ハリケーン「サンディ」の被害に遭われた皆さまの救援や被災地の復旧に役立てていただくために、グループ5社（三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJ証券ホールディングス、三菱UFJリース、ユニオンバンク）で、総額50万米ドルを米国赤十字社などに寄贈しました。

グループメッセージについて

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は
『質』の高いサービスの提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の
発展にも貢献していきたい」という
私たちの姿勢を表しています。
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は
「いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい」
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufig.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)